

平成23年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

訪問サービスにおける提供体制に 関する調査研究事業(速報値)

○ 調査の目的

介護予防訪問介護及び訪問介護における生活支援の実態を明らかにし、適切な生活支援のあり方を検討するもの。

○ 調査時期

平成23年5～6月（平成23年3月の状況を調査）

○ 調査対象数

- ・ 配布数 3,080件
- ・ 有効回答件数 2,841件（うち要支援者835件、要介護者2,006件）
- ・ 回収率 92.2%

○ 調査方法

- ・ 都道府県→10保険者（都道府県における任意抽出）
- ・ 保険者内の訪問介護事業所から要支援・要介護度ごとに1以上を抽出
- ・ 自記式
訪問介護事業所が、1月間に提供したサービスについて行為ごとの回数と時間を訪問介護サービス提供記録を下に記入

○ 調査内容

- ・ 利用者の同居家族の状況、状態像と訪問介護サービスの提供内容を調査

介護予防訪問介護

要支援者が受けているサービスに関連するADLの状況とサービス内容の相関

| ADLの状況 | 掃除 | 調理 | 買物 |
|----------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 自立かつ楽にできる | 0.7% | 1.2% | 1.3% |
| 自立かつ少し難しい | 19.7% | 23.4% | 17.3% |
| 一部介助だが改善可能性が高い | 21.2% | 22.5% | 19.2% |
| 一部介助だが改善可能性が低い | 48.9% | 42.2% | 42.3% |
| 全介助だが改善可能性が高い | 2.1% | 0.8% | 2.6% |
| 全介助で改善可能性が低い | 7.4% | 9.8% | 17.3% |
| 計 | 100.0% (N=716) | 100.0% (N=244) | 100.0% (N=312) |

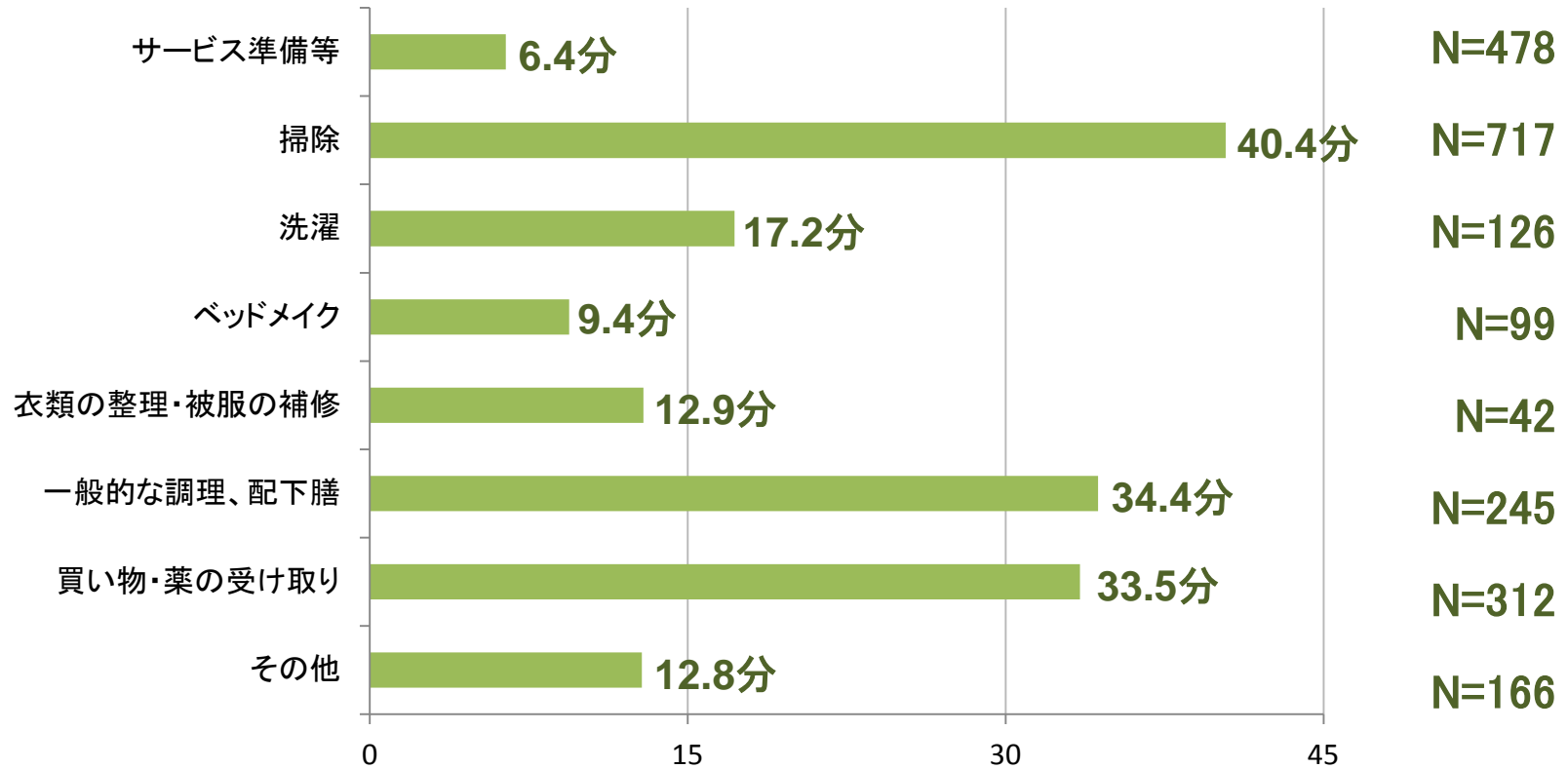
要支援者が受けているサービスに関連するADLの変化割合（1年前との比較 注）

| サービス内容 | 改善割合 | 維持割合 | 悪化割合 |
|-----------|------|-------|-------|
| 掃除(N=416) | 5.5% | 83.0% | 11.5% |
| 調理(N=162) | 4.6% | 80.8% | 14.6% |
| 買物(N=128) | 3.9% | 86.0% | 10.1% |

（注）1年以上サービスを利用している者に限定して分析

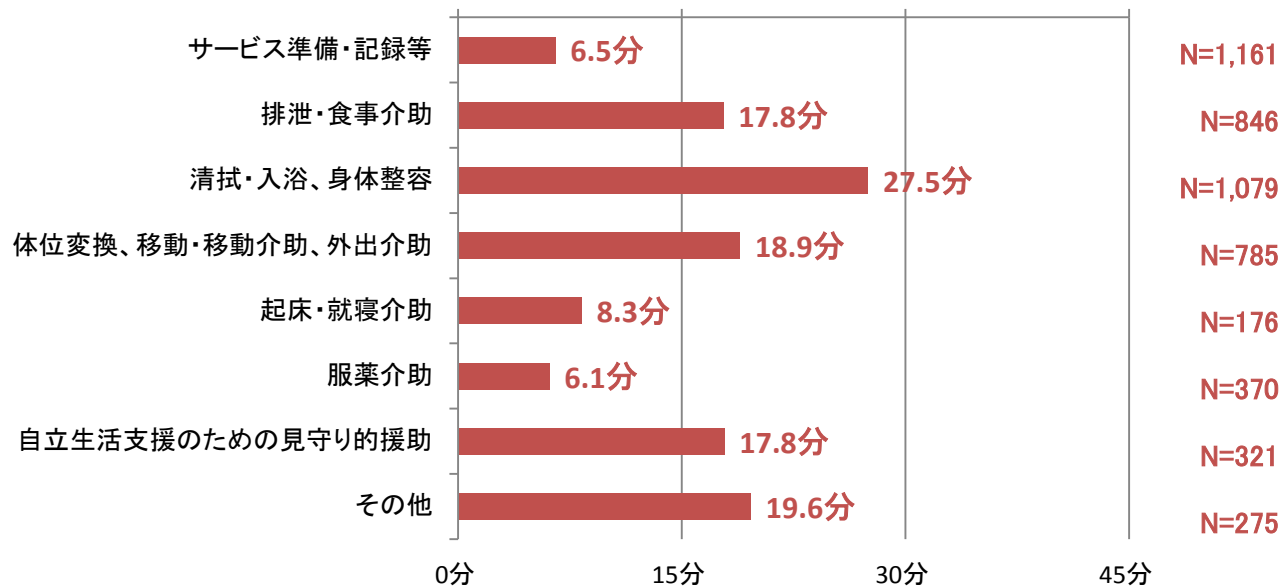
介護予防訪問介護

要支援者に対する生活援助の行為ごとの平均サービス提供時間

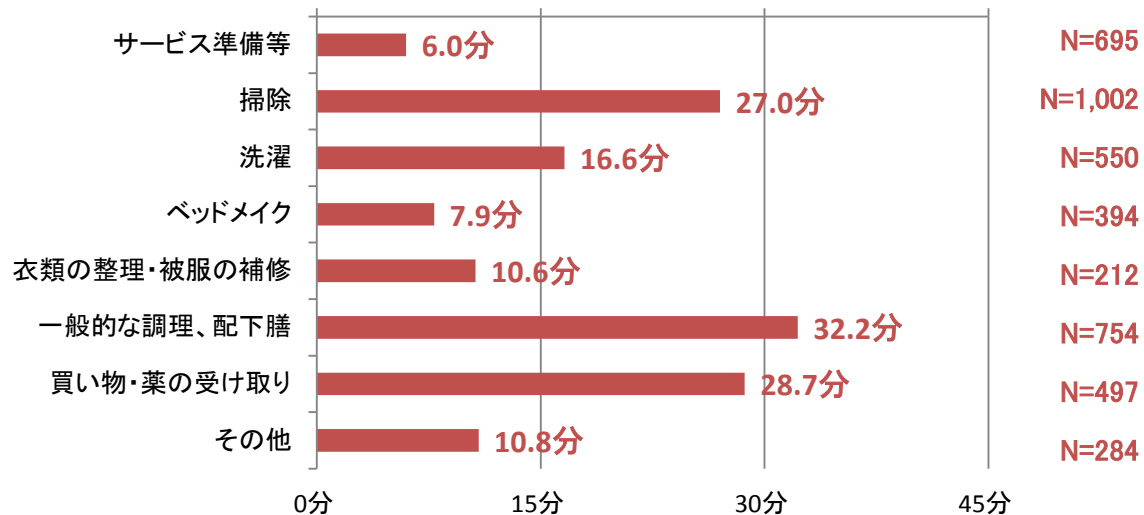


訪問介護

身体介護の報酬区分・行為ごとの平均サービス提供時間



生活援助の報酬区分・行為ごとの平均サービス提供時間



(参考) 訪問介護に関するタイムスタディ調査 (平成19年度実施)

○ 調査目的

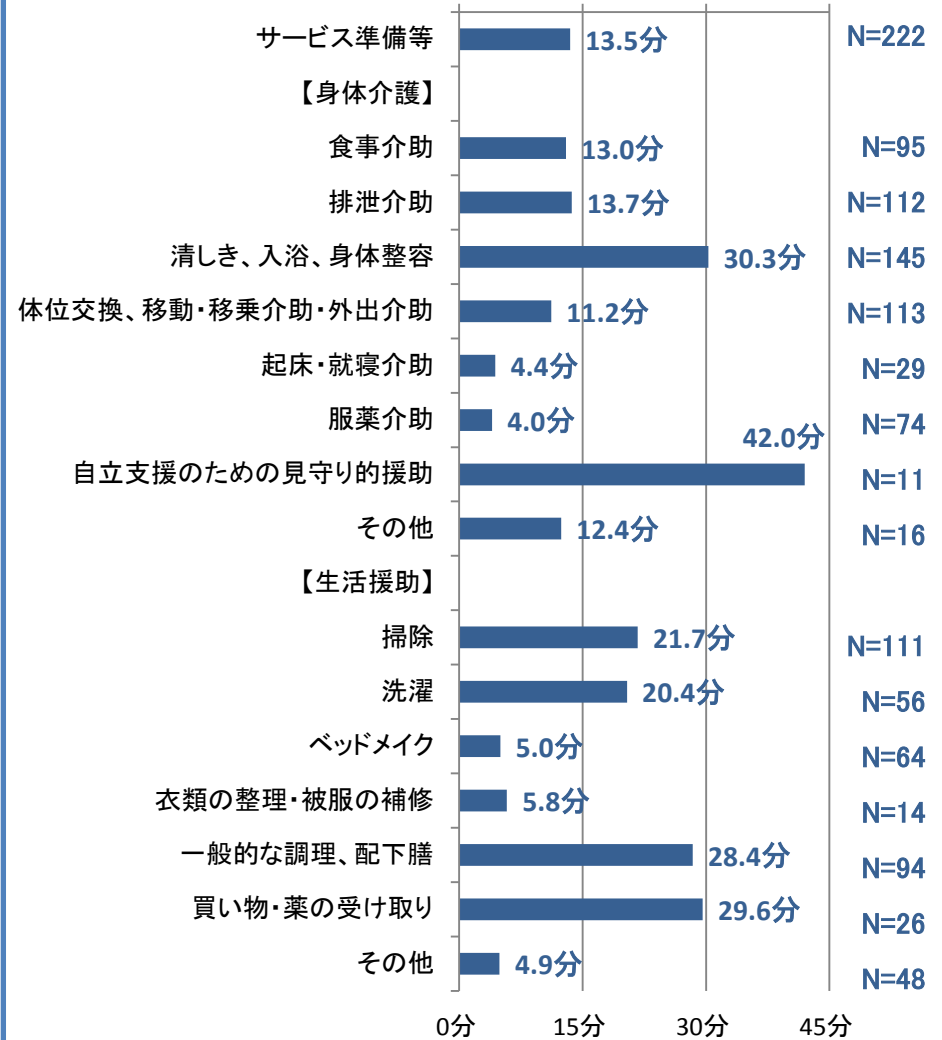
訪問介護サービスの実態を把握するため、サービス提供の時間帯、利用者の状態、居住環境等についてデータを収集する。

○ 調査の方法

- 調査期間：平成20年3月7日～3月21日
- 全国11の訪問介護事業所を対象
- タイムスタディ調査 (他記式)
訪問介護員に調査員が同行し、個別行為の提供時間について、その場で分単位で記録
- 回収件数 225件 (うち有効票223件)

| 要介護度別の内訳 | |
|----------|-------|
| 要支援1 | 3.3% |
| 要支援2 | 8.6% |
| 要介護1 | 13.8% |
| 要介護2 | 27.0% |
| 要介護3 | 16.4% |
| 要介護4 | 17.1% |
| 要介護5 | 13.8% |

訪問介護の行為ごとの平均サービス提供時間



(資料) 平成20年3月(株)三菱総合研究所「訪問介護の実態及び効率的なサービス提供のあり方に関する調査研究事業報告書」
(平成19年度厚生労働省老人保健健康増進等事業)